

和歌山大学
クリエ映像制作プロジェクト 2011年度
作成者・代表 出田 冨

<目標>

- ・映像制作に関する知識を学ぶ
- ・ドキュメンタリー番組等の制作活動を通じて、情報伝達ツールとしての映像を学ぶ
- ・大学内外への取材活動を通じて、オフィシャルなコミュニケーションを学ぶ
- ・USTREAM等を利用したクリエ、和歌山大学の情報配信や映像系コンテストへの出品により外部からの評価を得る

<目的>

私たちクリエ映像制作プロジェクトは、映像を利用して情報を伝えるということを目的に活動をしています。今日ではテレビやラジオ、インターネットなど多くの情報伝達ツールが社会に溢れています。テレビに代表されるように映像を利用した情報伝達は、受信者にかかなりの影響を与えます。そうした中、例えば和歌山大学では講演会や実験、学校行事や発表会など数多くのイベントが行われていますが、従来は主催者と参加者だけのものであり、参加できなかった方は情報を得られないというものでした。しかし、イベントの情報を必要とされている方は多いと考えます。そこで当プロジェクトが撮影、記録を行なって公開をすれば多くの方々のお役に立てると考えました。これは情報を必要としている方だけでなく、主催者側も活動をより多くの人に知ってもらえるとう有益があると考えています。

また、ドキュメンタリー番組を制作することで“人と人との繋がり”の大切さを伝えたいと考えています。近年、インターネットやスマートフォンの普及など、人と人との関係が希薄化していると言われていています。こうした中、ドキュメンタリー番組の制作は私たちの活動は勿論。より多くの人に、人と人との繋がり大切さを伝える事のできる手段であると考えています。さらに、その作品をコンテストへ出品することで、内部だけでなく外部からの評価を得て、私たちの意欲向上につなげていくことを目的としています。

最後に、テレビ番組の多くはそれぞれに細かく分業されて制作していると聞きます。無論、私たちはプロの技術を不完全にも真似る事しかできません。だからこそ、私たちは始めから終わりまでを自分たちで行うことで、一部の技術だけを極めるのではなく、構成過程において全体を見渡す力、アポイント等のコミュニケーション力、撮影・編集に対応する力を学んでいきます。また、チームワークの向上を図ることで、より良い作品作りに繋がると考えています。

<主な活動内容>

取材対象者との交渉（アポイントメント）から取材、編集、公開（DVDやBDでの引渡し、インターネット上へのアップロード）までの工程を行ないます。取材に使うカメラは昨年度から継続して計5台のカメラを使用し、編集は編集室にある4台のパソコンに内蔵してある編集ソフトを使用します。出来あがった番組は昨年導入したBDレコーダーを使ってDVDやBDに録画して配布するほか、インターネットの動画共有サイトを使って公開します。また、番組内でのナレーションやNHK大会に向けてボイストレーニングを行っています。

<具体的な内容>

・NHK杯全国放送コンテストへの参加

昨年度に引き続き、今年度もNHKコンテストへ参加しました。テレビ番組部門1作品、テレビCM部門2作品、ラジオドラマ部門2作品、ラジオCM部門1作品、朗読部門2作品、アナウンス部門2作品とほぼ、制限数に近い数の出品を行いました。テレビCMは1年生だけで制作しました。これにより、1年生は映像の基礎を学ぶ良い目標となり、初めての制作作業の中で貴重な経験とチームワークのきっかけとなりました。結果としては、テレビ番組部門に出品した1作品「虹を描く みんなを笑顔に」が同率4位入賞となりました。出品を始めた年から3年連続入賞をすることが出来ました。

この番組は、和歌山大学よさこいサークル和歌乱に密着取材したドキュメンタリー作品であり、和歌山大学の魅力を伝えるために和歌山大学らしいこちらのサークルを選びました。取材は5月ごろから始め、8月に和歌山城で行われる“おどるんや”という大きな大会に至るまでの、メンバーの葛藤や成長を撮影しました。編集は1カ月をかけて丁寧に行い、コンテストでの講評においてもその点で良い評価を頂けました。

今回、他の作品はあと一歩及ばず、入賞を逃しましたが、コンテストに参加したことで、現在での課題点、今後の目標等を見出すことの出来る、意義あるものとなりました。



ドキュメント取材風景



こども園記念DVDの取材風景

・和歌山県橋本市におけるこども園記念 DVD 制作

橋本市から今年閉園する4つの幼稚園と1つの保育園の記念 DVD 制作の依頼を受けました。記念の DVD ということで、これまでに余り経験のない分野なので、試行錯誤しながらの取り組みとなりました。事前に橋本市の担当者の方や園長先生と何度も打ち合わせを行い、DVD の流れ、撮影日、撮影風景や注意点まで緻密に協議しながら進めていきました。撮影日当日は、どのような流れで撮影するのか、スケジュールミーティングを再度関係者全員で綿密に行うことで円滑に進めることができました。記念の DVD となるよう園長先生や PTA 会長にインタビューを行い、園児の歌や全員で園へメッセージを送る等工夫をしながら作成しました。編集は、一人一人が責任感を持って作業できるよう一人一園の分担で行いました。この作品は、今まで当プロジェクトではなかった形式の作品となったので、様々なことが学べた貴重な経験となりました。

・大学祭での生放送番組の配信

昨年度に引き続き、大学祭の魅力を大学内外に発信するため USTREAM を利用して放送しました。新たにスカイプを用いた放送を行うことで、無線の中継レポートにも成功しました。しかし、生放送当日の大学祭は不運にも悪天候に見舞われたため、当初予定していたスタジオを変更、ゲスト出演の予定変更・中止など様々な対策を取らざるを得なくなりました。そのため、セットしていたスタジオを解体し、自主創造科学センターの中でもう一度組み直しセットをしました。また、突然の台風だったため、出演できなくなってしまったゲストの枠を埋めるため、スケジュール、質問内容、出演者の変更が早急に行われました。予定時間を短縮しての放送となりましたが、生放送を無事行うことが出来ました。今回の経験から、雨天時のスケジュールの組み、状況に応じた進行など変更があった場合の対応について学ぶ事が多く、次回に活かしていきたいと考えています。



大学祭生放送のセット作り



和歌山放送でのラジオの配信

- ・ USTREAM を利用したラジオ配信

和歌山大学広報ラジオ番組である“ワダイのわだい！”の収録が和歌山放送局で行われました。私たちは収録風景を USTREAM での生放送配信を行いました。和歌山放送にカメラ2台と、ミキサー、パソコン等を持参して、組み立て、臨みました。今年度は2回行いました。外での生放送を経験できる良い機会ですので、配信メンバーを毎回入れ替え多くが参加できるよう取り組んでいます。

- ・ 大学校歌の PV 制作

現在の大学校歌の PV は古く、観光学部等の新しくできたものが反映されていません。そこで和歌山大学広報部と協同で大学校歌の PV を制作する事となりました。始めに、混声合唱団と第二校歌「ぼくらの WADAICAMPUS」作詞・作曲者の宝子さん出演で撮影を行い、完成した PV を大学内のデジタルサイネージで放送しました。さらに、様々な部活・サークルに出演してもらう PV も現在制作中であり、来年度完成予定です。

- ・ 混声合唱団やニュージャックなどサークルイベントの記録

和歌山大学の情報発信として、部活・サークルの活動記録なども行ってきました。混声合唱団の他大学との定期演奏会を撮影、編集し記録 DVD を制作し、ダンスサークル・ニュージャックのダンスイベント JIN14 を撮影したものは、より多くの人が見ることが出来るように YouTube にアップロードをしました。また、6時間のイベントを10分にまとめた記録 DVD を制作しました。

- ・ NHK 和歌山放送局の見学

和歌山放送局のご厚意で局内や実際のスタジオを見学させて頂きました。生の現場でのリハーサルや、収録風景は普段見る事の出来ないものであり、大学祭での生放送番組に生かしていきたいと考えています。



NHK 和歌山放送局見学風景

<結果・成果>

結果として、NHK コンテストでの入賞。その他にも、大学祭でのスカイプを使用した無線レポートの生放送番組、新たなミキサーを利用した USTREAM 配信など、これまでにない試みを行う事が出来ました。また、和歌山大学の情報を、映像を通して積極的に伝えることが出来たと考えています。サークルの活動等を YouTube にアップロードや、USTREAM を使用しての生放送等です。すみだこども園の記念 DVD に関しては、カメラやパソコンなどの機材の操作だけでなく、交渉やインタビューなどを経験することによってオフィシャルなコミュニケーション力の向上が図れたと考えています。

<今後の課題・展望>

私たち映像制作プロジェクトは今年度で4年目を迎えます。これまで、外部からの依頼を受けた PR ビデオの制作やコンテストへの出品に向けたドキュメンタリー制作を行い、コンテストでは全国大会で4位を頂くなど一定の成果を残すことが出来ました。また、新しく多くの機材を導入することにより良い環境を整えて頂き、一層質の高い作品制作に取り組む事が出来ます。

テレビの様に動画が視聴者に訴える影響力は大きく、例えば大学紹介ビデオや大学主催のイベントの宣伝や記録を大学のホームページ上にあげることでより多くの人々の興味を引くことができ、私たちのプロジェクトの活動がクリエや大学に貢献できると考えています。当大学において、私たちのように動画という媒体を利用した情報配信の活動を行うチームは他になく、私たちは大学において非常に恵まれたな立場であると考えています。今年度は大学祭、ラジオ収録の USTREAM 配信、サークルのイベント記録の YouTube での配信等に成功しました。今後は、今年度叶わなかった NHK コンテストにおいての優秀賞や入賞を果たせなかった部門や、その他のコンテストでの入賞。それまで以上の技術・チームワークの向上を図り、学生ならではの感性を生かした作品の制作に取り組みたいと考えています。

<感想>

代表を引き継いだ当初は、プロジェクトの設立から4年が経過し活動内容の安定や NHK コンテスト連続入賞など、先輩方が築いたものを維持することに必死でスキルアップやチームワークを考える余裕がありませんでした。しかし、先生方や先輩方、プロジェクトメンバーに支えられながら、少しずつではありますが私たちメンバーは着実に成長することができました。私個人としましても、制作者として、また代表として本当に多くの事を学べる貴重な機会を頂き、育てて頂きました。

学生自主創造科学センターや宇宙教育研究所をはじめ、当プロジェクトにご支援・ご協力頂きました全ての方々に心より感謝申し上げます。